

平成 27年 9月 6日

し ょ う よ う

# 松陽

第105号



<発行>

広島県立障害者療育支援センター 松陽寮  
発行責任者 小家石 龍次  
739-0133 東広島市八本松町米満198-1  
TEL 082-428-6671  
FAX 082-428-6670  
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>  
E-mail [syoyou@hiroshima-wsc.jp](mailto:syouyou@hiroshima-wsc.jp)

太陽のように

まぶしい笑顔  
で



夏だ！平岩夏まつりだ！



## 新しい生活が始まりました

6月29日に仮の住まいの厚生ゲストハウスに引越して、2週間が過ぎました。すべてのスペースがとても狭く動きにくさを感じていますが、利用者の皆さんは大きく動揺されることなく穏やかに生活されています。笑顔で「まだよね？」と聞いてこられる方や居室で余暇を満喫されているように見えますが「いやよお。」との感想を言われる方もおられますので、満足はされていないようです。2月の改修完成を心待ちにし、皆で生活を工夫して、できる限り楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。

第3支援課



第4支援課は、6月30日に施設リニューアルの為、長年生活してきた場から仮設建物へ引越しをしました。事前に生活空間が変わることへの準備として、仮設建物で余暇や活動を利用しての体験を2週間程度行いました。引越ししてから、部屋等の間違いはありますが、利用者が生活空間の違いで不安定になることは一切なく、穏やかに生活されています。私たち職員も驚きの部分です。

今後仮の住まいで生活することにおいて、様々な問題やリスクは発生すると考えられますが、利用者、職員共に新しくリニューアルされる元の施設へ帰る日を楽しみにして日々頑張っていきたいと思えます。

第4支援課





## スポレク祭

今年も雨が降るか心配されましたが、当日は晴れ、とても気持ちの良い天気の中スポレク祭を行うことが出来ました。カローリングでは思わず力が入ってしまい、中々ボールが輪の中に入らず苦戦しました。レインボーマッチシュートや綱引きリレーでは保護者の方と一緒に協力し一生懸命頑張りました。また、パン食い競争では口を上手く動かしながらパンをゲットし、おいしく食べることができました。



## 意思決定を支える

地域支援課では春と秋に外出活動（社会適応訓練）を複数回に分けて実施しています。それは、利用者の方が心待ちにしている行事のひとつです。春の外出先はショッピングをはじめ、映画、カラオケ、食事会、ゲームセンター、高校野球観戦など複数のメニューを提示し自分で選択できるように配慮しています。

支援する側のみで支援を進めるのではなくご本人の思いを傾聴し、利用者の方により多くの情報を提供し様々な体験を通して主体的に決定する力を育み、笑顔あふれる日常を今後も支えて行きたいと願っています。





## ボランティア

7月25日(土) 今年も暑い一日でした。地域の民生委員の方々を含む、計12名のボランティアの方を迎えました。ボランティアの方には踊りクラブの舞台発表と一緒に参加していただいたり、買い物やジュース等の販売のお手伝いをしていただいたり、移動の介助をしていただきました。参加していただいたボランティアの方から「Sさんと一緒に夏祭りに参加できて、楽しかったです」という感想を聞きとても嬉しく思いました。ボランティアの方と一緒に参加した利用者も楽しい一時を過ごされ、良い思い出になりました。



## 行事予定

10月3日(土) 中部地区運動会  
11月10日(火)～15日(日)  
松陽寮(作品展示)  
11月22日(日) 課別懇談会

## 編集後記

松陽寮はとうとう工事が始まりました。新しい施設になるのが楽しみです。暑い時期がまだまだ続きますが頑張りましょう。